

【参考資料2】第2期総合戦略（掲載事業）実績評価シート

通番	基本目標	中項目	事業名	事業概要	所属CD	所属	2024年度実績	期間内取組実績
1	①	1	企業立地奨励事業	市内において新たに事業所を設置する企業及び事業規模を拡大する企業の投資に対し、奨励金を交付する。	AG15	産業振興課	・旧条例、新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用 ・カーボンニュートラル創エネ促進補助金、カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金の交付 ・企業訪問等による制度PR	・旧条例、新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用 ・カーボンニュートラル創エネ促進補助金、カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金の交付 ・企業訪問、セミナー出展等による制度PR
2	①	1	中小企業経営力高度化支援事業	新設する補助制度やセミナー、勉強会の開催により、市内中小企業・小規模事業者の人材育成・販路開拓など、経営力強化に資する取組を支援する。	AG16 AG12	産業人材活躍課 次世代産業課	・中小企業経営力高度化事業補助金の交付 ・事業承継支援 ・経営研究会の実施 ・カーボンニュートラル取組促進に向けた支援	・中小企業経営力高度化事業補助金の交付（2021～2024年度） ・事業承継プラットフォームによる事業承継支援の実施（2021～2024年度） ・経営研究会との連携による業界PR等の実施（2021～2024年度） ・カーボンニュートラル取組促進に向けた支援実施（2022～2024年度）
3	①	1	とよたイノベーションセンター運営事業	コーディネーターによる技術・経営相談、新技術・新産業創出支援セミナー等の開催、製造技術力やIT活用などのものづくり人材育成事業を行う。	AG12	次世代産業課	・技術・経営相談の実施 ・イノベーションセミナーの開催 ・製造技術者育成プログラム、デジタルものづくりカレッジの開催 ・豊田市DX推進プラットフォームの運営	・技術・経営相談の実施（2021～2024年度） ・イノベーションセミナー、デジタルものづくりカレッジ等、セミナー・講座の開講（2021～2024年度） ・DX推進プラットフォーム設立・運営（2022～2024年度）
4	①	1	DX促進事業	設備投資等への補助金、専門家の派遣、社内でデジタル化を推進できる人材を育成するための講座を実施し、デジタル化を促進する。	AG16 AG12	産業人材活躍課 次世代産業課	・デジタルスキルアップ研修（求職者、在職者対象） ・メタバースを活用した市内産業PR ・DXモデル創出事業	・デジタル化支援補助金の交付（2021～2022年度） ・テレワーク導入支援補助金の交付（2021～2022年度） ・求職者、在職者を対象としたデジタルスキルアップ研修の開催（2023～2024年度） ・メタバースを活用した市内産業PRの実施（2023～2024年度） ・DXモデル事例創出事業の実施（2023～2024年度）
5	①	2	オープンイノベーション推進事業	開放特許等の新たな資源とのマッチングやピッチイベント等の開催により新製品開発や事業化を支援する。	AG12	次世代産業課	・新規事業の実施を目指す企業への伴走支援 ・ピッチイベント等による事業化支援 ・相談窓口「はじめるとよた」の開設	・ピッチイベントの実施（2021～2024年度） ・新規事業創出取組促進事業の実施（2023～2024年度） ・相談窓口「はじめるとよた」開設・記念イベントの実施（会場：STATION Ai）（2024年度）
6	①	2	スタートアップ支援事業	「ものづくり創造拠点SENTAN」を活用したハッカソン等の開催による市内外からのスタートアップ候補の掘り起こしとスタートアップ支援制度の運用により「場所」「金」「機会」の支援を行う。	AG12	次世代産業課	・豊田STARTUP CHALLENGEの開催によるスタートアップの掘り起こし実施 ・ものづくり創造補助金の交付 ・次世代航空モビリティの普及啓発及び参入促進	・ビジネスプランコンテスト、アイデアソン等スタートアップ掘り起こし事業の実施（2021～2024年度） ・ものづくり創造補助金の交付（2021～2024年度） ・空飛ぶクルマ参入促進に向けたオンラインセミナーの開催（2022～2024年度） ・空飛ぶクルマ開発報告＆提案会の開催（2021～2024年度） ・物流ドローンの災害時医療での活用に向けた実証実験の開催（2022年度） ・空飛ぶクルマアイデアコンテスト「空・想」の開催（2022年度） ・空飛ぶクルマVR体験動画の作成（2023～2024年度）
7	①	2	ものづくりミライ塾事業	社会課題の解決など大きな視点で一連の製品開発を経験することで自ら考え、行動し、新製品等を創出できる人材を育成する。	AG12	次世代産業課	・ものづくりミライ塾の運営	ものづくりミライ塾の運営（2021～2024年度）
8	①	3	ブランド農産物担い手育成事業	農ライフ創生センター「桃・梨専門コース」を運営するとともに、産地の離農者の事業を新規担い手に承継する仕組みを検討する。	AG14	農業振興課	・桃・梨専門コースのR5年度からの研修生2名が研修を修了 ・里親・研修生・修了生との意見交換会を実施	・継承農地87,027㎡確保(全体) ・令和元年度より開講した桃・梨専門コースの8名が修了
9	①	3	農商工連携・6次産業化推進事業	農商工連携や6次産業化に関するセミナーや研修会、異業種交流会などを実施するほか、連携イベント等を開催する。	AG13	農政企画課	・研修会・交流会・連携イベントの開催 ・特産品開発等のアドバイザーの派遣	・ビジネススクール：9事業者参加 ・アドバイザー派遣：19件 ・研修会：4件開催
10	①	3	鳥獣害対策事業	鳥獣害対策を行う農家や集落への支援及び有害鳥獣駆除を実施するとともに、人材育成や効果的、効率的な被害防止対策を研究する。	AG14	農業振興課	・侵入防止柵の設置：61.1km ・有害鳥獣の捕獲：10,019頭羽 ・緩衝帯の整備：1集落 ・集落獣害対策ベストマッチ事業：3集落	・集落ぐるみで行う柵の設置などへの補助 ・有害鳥獣駆除の実施 ・集落獣害対策ベストマッチ事業による支援
11	①	4	新作業システム導入支援事業	効率的な施業と森林保全の両立を図るため、路網作設[1]に過度に依存しない架線系による新たな施業システムの導入を支援する。	AG07	森林課	・市有林でのタワーヤーダによる利用間伐	・タワーヤーダ1台の導入と運用
12	①	4	地域材利用促進事業	一般社団法人ウッディーラー豊田等とともに、森林と都市部をコーディネートし、木製品の開発、ツアー、勉強会等を通じて地域材の魅力をPRし、木材利用を促進する。	AG07	森林課	・企業展イベント出展 ・商品開発 ・補助：1件	・企業展イベント出展 ・商品開発 ・補助：26件
13	①	4	関連市道・林道整備事業	製材工場等へのアクセスを円滑にし、木材搬出量の増加や流通の効率を上げる。	AH18	建設企画課	・市道整備：L=1.69km ・林道整備：L=0.151km	・市道整備：L=6.86km ・林道整備：L=1.285km

【参考資料2】第2期総合戦略（掲載事業）実績評価シート

通番	基本目標	中項目	事業名	事業概要	所属CD	所属	2024年度実績	期間内取組実績
14	①	5	就労支援事業	若年者、中高年齢者、女性、定住外国人など多様な人材に対し、職業相談・紹介のほか、セミナー、キャリアカウンセリングなどを実施する。	AG16	産業人材活躍課	・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施 ・職業相談、職業紹介の実施 ・事業所と求職者との交流機会の提供	・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施（2021～2024年度） ・職業相談、職業紹介の実施（2021～2024年度） ・事業所と求職者との交流機会の提供（2021～2024年度）
15	①	5	地域産業の担い手確保支援事業	今後就職を考える若年者等を対象に、中小企業の魅力を伝えるパンフレット、動画の作成や、出張授業、オープンファクトリー等イベントを開催するほか、企業と副業・兼業人材等とのマッチングを支援する。	AG16	産業人材活躍課	・多世代参加型職場体験の実施 ・先輩名鑑の発行 ・インターンシップ等受入の支援 ・企業と教員の接点づくりの場を提供（未来共創塾） ・人材確保に関する伴走型コンサル、人材戦略検討に関する地域企業群の形成支援	・副業兼業人材のマッチング支援（2021～2022年度） ・多世代参加型「みんなの職場体験」の実施（2023～2024年度） ・先輩名鑑の発行（2021～2024年度） ・インターンシップ等受入の支援（2023～2024年度） ・高校生対象中小企業魅力発信事業の実施（2021～2023） ・企業と教員の接点づくりの場「未来共創塾」の実施（2024年度） ・人材確保に関する個社伴走支援の実施（2023～2024年度）
16	②	1	交流コーディネート事業	おいでん・さんそんセンターにより、都市部と山村部をコーディネートするとともに、その魅力や山村部の価値を発信する。	AI05	総合山村室	・交流マッチング件数：24件 ・集落活動応援隊派遣：9地域13回 ・イベントでの情報発信：4回	・交流のコーディネート及び活動の支援 ・SNS等による情報発信
17	②	1	足助地域核エリア再生事業	地域資源や地域特性を生かした事業創出を通じて、地域の担い手の創出と地域が自立的に存続するための仕組みを構築する。	AI07	足助支所	2022年度で事業完了	・足助まちづくりビジョンの策定 ・民間事業者による事業や活動の創出
18	②	1	わくわく事業	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助する。	AI01	地域交流課	・補助金の交付：312事業 ・事業のPR ・団体同士の情報交換の実施	・市内28地域で1,146事業を採択 ・交流会や交流館への活動報告書の掲示を活用して活動内容を周知
19	②	1	山里ひとなる塾事業（旧：豊森なりわい塾事業）	山村をフィールドにこれからの生き方・働き方・社会のカタチを考え、山村の担い手、関係人口を創出する。	AI05	総合山村室	・山里ひとなる塾を実施し、17名が卒塾	・豊森なりわい塾10期を実施し、21名が卒塾 ・山里ひとなる塾を実施し、29名が卒塾
20	②	1	道の駅どんぐりの里いなぶ再整備事業	重点「道の駅」に選定されたことを契機として、地域活性化の拠点となる「道の駅」の機能拡充及び周辺整備を実施する。	AI08	稲武支所	2022年度で事業完了	・キャノピー（ぐりっぴーの帽子）新築（2021年度） ・どんぐり横丁増築改修工事（2021～2022年度） ・どんぐり横丁売場什器調達（2022年度）
21	②	2	まちなか広場空間活用事業	「あそべるとよたプロジェクト」等、まちなかの公共的空間の活用を促進させる取組を支援し、公民連携した中心市街地のにぎわいを創出する。	AG15	産業振興課	・民主導による公共空間の活用事業の実施（あそべるとよた等） ・将来に向けた広場活用、管理・運営体制の再編検討 ・WRC開催時におけるまちなかおもてなし事業の実施	・民間団体主導で公共空間を活用（あそべるとよた全体の利用件数） ・486件（2021年度） ・657件（2022年度） ・433件（2023年度） ・298件（2024年度）
22	②	2	とよた科学体験館プラネタリウム改修事業	施設の魅力向上や学習利用での理解向上に向け、光学式プラネタリウムやデジタル式プラネタリウムなどの改修・更新を実施する。	AL01	学び体験推進課	2021年度で事業完了	光学式プラネタリウム及びデジタル式プラネタリウムなどの改修・更新を実施した。
23	②	2	映画を生かしたまちづくり事業	映画文化の醸成、及び映画・シネマコンプレックスを生かした賑わいづくりを実施する。	AL02	産業振興課	・WE LOVE CINEMA事業（とよた駅前映画会、豊田市博物館連携事業、図書館連携事業）	・とよたアニメーシネマフェスティバル（2021年度） ・WE LOVE CINEMA事業（2021～2024年度） ・まちなか回遊性事業（2021～2023年度）
24	②	3	観光マーケティング推進事業	一般社団法人ツーリズムとよたの運営を支援し、観光の産業化を推進する。	AL02	観光誘客推進課	・（一社）ツーリズムとよたに対する補助金の交付や人的支援	・観光マーケティング調査の実施及び結果分析報告会の実施 ・本市ならではの魅力的な観光商品の開発 ・CRMシステム「いこまいるとよた」の推進（登録者数16,338人／令和6年度末時点） ・観光関連事業者向けセミナーの開催
25	②	3	インバウンド推進事業	ターゲットに対応した戦略的なプロモーション及びおもてなし環境を整備する。	AL02	観光誘客推進課	・計画に基づくプロモーションの実施及び滞在環境の充実	・主要観光拠点におけるタブレット型通訳端末を活用した案内の実施（2021年度） ・ツーリズムとよたによる海外誘客プロモーションの実施 ・各種観光情報ツールの多言語化 ・豊田市駅周辺におけるデジタルサイネージによる情報発信
26	②	3	鞍ヶ池公園賑わい空間創出事業	市内外から訪れる多様な世代が多様な楽しみ方を実現する空間を創出する。	AJ27	公園緑地課	令和6年度来園者数：1,378,700人	・様々なジャンルのイベントの実施。 ・公園の夜使いイベントの実施。 ・樹上アクティビティに熱中症対策と話題創出を目的とした雲海演出のドライミストを設置。

【参考資料2】第2期総合戦略（掲載事業）実績評価シート

通番	基本目標	中項目	事業名	事業概要	所属CD	所属	2024年度実績	期間内取組実績
27	②	3	ラリーを生かしたまちづくり事業	ラリーをはじめとしたモータースポーツの開催等を通じ、「クルマを楽しむ」自動車文化の醸成、地域活性化を推進する。	AL06	ラリーまちづくり推進課	・本市が主体となったWRC(フォーラムエイト・ラリージャパン2024)の開催 ・WRC開催を生かした都市部・山村部での盛り上げ ・その他ラリー競技の開催（TGRラリーチャレンジ・豊田しもやまラリーなど） ・国内外へのプロモーションの実施 ・2025年WRCの開催準備	・世界ラリー選手権（WRC）の開催支援（2022年度） ・本市が主体となった世界ラリー選手権（WRC）の開催（2023～2024年度） ・WRC開催を生かした都市部・山村部での盛り上げ（2022～2024年度） ・その他ラリー競技の開催（TGRラリーチャレンジ・豊田しもやまラリーなど）（2022～2024年度）
28	②	4	市街化調整区域内地区計画の活用	鉄道駅周辺や市街化区域隣接部など、既存ストックの活用が図られる地域等において、民間事業者による開発を誘導し、宅地供給の促進を図る。	AJ01	都市計画課	・1案件の計画決定を行い、36宅地の供給につなげた	・4案件、249宅地の都市計画決定 ・継続協議案件のフォロー ・制度活用に向けた運用指針の随時見直し
29	②	4	定住促進プロモーション事業	本市への定住を促進するため、定住促進プロモーション「ファースト暮らすとよた」を通じて、市内外の家族形成期を中心とした世代へ豊田市の魅力や住みやすさについてメディアやWebサイト、PR冊子等で情報を発信する。	AL03	シティプロモーション戦略課	・住まいガイド作成 ・不動産・住宅情報誌掲載 ・不動産・住宅サイト掲載 ・イベント出展 ・市販誌へのPR記事掲載 ・移住定住促進サイト管理運営 ・給与住宅居住者へのアンケート実施	・移住定住促進サイトの管理運営（2021～2024年度） ・雑誌や不動産情報誌、不動産住宅サイト等へのPR記事掲載（2021～2024年度） ・各種イベントへの出展（2021～2024年度） ・各種PR冊子の作成・配布（2021～2024年度） ・不動産事業者と連携した情報発信（2022～2024年度） ・住宅業者へのヒアリング、給与住宅居住者へのアンケート等による調査分析（2022～2024年度）
30	②	5	トップアスリート・スポーツチーム応援事業	本市ゆかりのトップスポーツチームやアスリートを応援し、市民のスポーツへの関心を増大させ、市への愛着や誇りを高める。	AL05	スポーツ振興課	・夢の教室の実施（73校157クラス実施） ・競技会誘致の実施（11大会実施） ・ホームチーム地域交流事業の実施（1クラブ） ・ホームチームのまちなか装飾等の実施 ・都市対抗野球大会応援事業の実施 ・パリオリンピック・パラリンピック応援事業の実施	・まちなか装飾やパブリックビューイングなどの応援事業を実施し、トップスポーツチームやアスリートを応援する風土を醸成することができた。
31	②	5	Jリーグホームタウン推進事業	2021シーズンから20試合程度に増加する見込みの、豊田スタジアムでの名古屋グランパスのホーム公式戦開催に合わせ、来場者を取り込んだ取組や応援気運を盛り上げる自主的な取組に関する支援・調整を実施する。	AL02	観光誘客推進課	・経済波及効果調査 ・指導者派遣事業 ：小学校（61校・5,387人） ：こども園（92園・2,970人） ・開幕応援事業 ・WE LOVE サッカー・豊田ゲームス2024	・名古屋グランパスと連携した指導者派遣事業や開幕応援事業を行うことで市内のサッカー振興をすることができた。 ・また、WE LOVE とよたサッカーゲームスにおいて小学生の全国からサッカーのユースチームを誘致し、豊田市のPRをすることができた。
32	②	6	郷土学習推進事業	市民や団体、地域と共働により、郷土の歴史・文化財を子どもたちに継承する取組を学校と連携して実施する。	A013	博物館	2022年度で事業完了	・とよた歴史マイスターの認定・活動支援（認定者数70人・活動延べ133人） ・郷土学習スクールサポートの実施（延べ参加54,933人）
33	②	6	博物館整備事業	歴史・文化や自然など本市の持つ価値や魅力を守り、伝え、継承するための拠点である博物館を整備する。	A013	博物館	2023年度で事業完了	・建設工事・電気工事・空調工事・展示製作（2021～2023年度） ・園路整備工事（2022～2023年度） ・開館 2024年6月
34	②	7	関連市道整備事業	都市部と山村部の交流促進や産業拠点間の交通円滑化に向けた幹線道路ネットワークの強化及び幹線道路へ安全にアクセスできる生活道路の整備・改築を行う。	AH18	建設企画課	・市道整備：L=1.69km	・市道整備：L=6.86km
35	③	1	とよた急病・子育てコール24運営事業	子育ての不安感や負担感を訴える相談者等に応じるため、24時間・365日対応可能なコールセンターを開設し、継続的な支援が必要な家庭に対する支援につなげる。	AQ04	こども相談課	・24時間365日の電話相談件数 相談件数：21,769件 救急医療：17,202件 育児：3,469件 その他：1,098件	・24時間365日の電話相談件数 相談件数：77,033件 救急医療：59,592件 育児：13,428件 その他：4,013件

【参考資料2】第2期総合戦略（掲載事業）実績評価シート

通番	基本目標	中項目	事業名	事業概要	所属CD	所属	2024年度実績	期間内取組実績
36	③	1	多胎パバママ教室	多胎を妊娠した妊婦が身体的・精神的に安定した妊娠・出産・育児を迎えるため、妊婦及びその家族を対象に、多胎の妊娠出産経過や家族の役割について、多胎育児経験者を交えたグループワークなどを行う。	AQ05	おやこ応援課	・多胎妊婦の受講割合：67.6%（25/37）	・多胎妊婦の受講割合 2021年度 50.5% 2022年度 78.7% 2023年度 70.5% 2024年度 67.6%
37	③	1	思春期教室事業	実施希望のあった学校の中学生等を対象に、保健師等が講師として出向き、性や命の尊さ、妊娠・出産等に関する性教育を実施する。特に、主体的に取り組む学校には、資料や教材の貸与を行う。	AQ05	おやこ応援課	・中学校：25校（実施回数29回） ・小学校：7校（実施回数7回）	・性教育の実施 26校（2021年度） 25校（2022年度） 24校（2023年度） 25校（2024年度）
38	③	1	とよた出会いの場プロジェクト事業	青少年の独身者を対象に、立食パーティーや交流ゲームなどのイベントや活動を通して出会い、交流できる活動を実施する。	AQ01	こども・若者政策課	・青少年センターとの共催事業として婚活イベントを実施。 実施回数：2回 参加者数：延べ39名	・2021年度 実施回数：3回 参加者数：延べ20人 ・2022年度 実施回数：1回 参加者数：延べ29人 ・2023年度 実施回数：3回 参加者数：延べ62人 ・2024年度 実施回数：2回 参加者数：延べ39人
39	③	2	公立こども園のICT活用事業	公立こども園にICTを導入し、保護者や保育士の負担を軽減することで、多様な保育ニーズに対応できる環境を整備する。	AQ03	保育課	・システム運用 ・導入機能検討 ・運用方法検討	・公立こども園全園でのシステム展開 ・公立こども園全園でのキャッシュレス決済運用開始 ・新規機能の導入（ドキュメンテーション機能）
40	③	2	人材確保に向けた大学連携事業	保育士等を養成する大学等と連携し、保育士等を志望する学生の増加に向けた取組を実施する。	AQ03	保育課	・魅力説明会実施 ・就職説明会参加 ・保育実習受入れ	・魅力説明会実施 ・就職説明会参加 ・保育実習受入れ
41	③	2	放課後児童クラブ事業	原則小学校4年生までの就労家庭の児童の生活の場を、学校施設を有効に活用し、確保する。	AQ01	こども・若者政策課	・放課後児童クラブの運営 実施校数：71校 参加児童数：4,157人（5月1日時点）	・放課後児童クラブの運営体制を整えながら児童クラブの質の向上を図り、原則小学校4年生までの就労家庭の児童の生活の場を、学校施設を有効に活用し、確保した。
42	③	3	きめ細かな教育推進事業	市の現状に合ったきめ細かな教育の推進を図るために少人数学級とサポートティーチャーを組み合わせた制度を継続実施するとともに、当該校の養護教諭が校外学習等で不在時でも食物アレルギーや熱中症等の対応ができるように非常勤養護教諭を継続配置する。	KC03	学校教育課	・検証委員会の開催：1回 ・講師募集活動の推進	・対象校に対し、全校配置 ・きめ細かな教育検証委員会による効果検証
43	③	3	ICT活用・整備推進事業	児童生徒が学校で円滑にICT機器を使うことができるようICT環境を整備し、教員の情報活用指導力の向上をめざした研修を行うことで、児童生徒がICT機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に取り組めるようにする。	KC03	学校教育課	・教職員対象の習熟度別研修の実施 ・ネットワークの改修 ・タブレット端末の活用推進 ・デジタルドリル教材の活用推進	・教職員対象の習熟度別研修の実施 ・校務用パソコンの更新 ・教職員用学習用タブレットの追加購入 ・タブレット端末の活用推進 ・デジタルドリル教材の導入、活用推進 ・ネットワークの統合・改修 ・ICTカートの購入
44	③	4	働き方改革推進事業	市民への啓発、企業経営者等へのセミナー、事業所訪問や優良事業所表彰を通じた意識啓発及び改革に取り組む企業へのアドバイザー・講師派遣を実施する。	AG16	産業人材活躍課	・優良事業所表彰の実施 ・アドバイザー講師の派遣 ・各種啓発セミナー及び事業所訪問の実施 ・補助金の交付 ・働きやすい職場づくり推進事業所制度の運用	・優良事業所表彰延べ表彰件数：76件（2021～2024年度） ・働き方改革専門アドバイザーの派遣延べ159件（2021～2024年度） ・働き方改革関連セミナー等の開催（2021～2024年度） ・働き方改革推進支援補助金の交付（2023～2024年度） ・働きやすい職場づくり確認公表制度延べ確認公表件数：100件
45	③	5	子ども食堂支援事業	子ども食堂の立上げや運営に関する相談対応、事業継続のための寄附やボランティア等マンパワーの確保などに取り組むとともに、子ども食堂の運営に係る費用の一部を支援する。	AX09	よりそい支援課	・補助金の交付 ・交流会開催	・補助金の交付を実施。 ・とよたこども食堂ネットワークの設立に伴い、役員会にてアドバイスをを行った。また、交流会を実施した。

【参考資料2】第2期総合戦略（掲載事業）実績評価シート

通番	基本目標	中項目	事業名	事業概要	所属CD	所属	2024年度実績	期間内取組実績
46	③	5	子どもの学習・生活支援事業	経済的理由等により学習環境が整っていない子どもに対し、ボランティア等による学習支援及び生活習慣の形成・改善など世帯全体の生活支援を実施する。	AX09	よりそい支援課	・学習、生活支援の実施 開催日数：269日 利用者数：104人 ボランティア数：105人	・直営1か所＋委託5か所から委託6か所へと体制整備（2021年度） ・委託2か所については集合型＋訪問型（地理的理由・精神的理由）による学習支援を実施（2022年度） ・委託3か所については集合型＋訪問型（精神的理由）による学習支援を実施（2023年度） ・子どもの学習・生活支援事業の定期実施 271回（2021年度）、270回（2022年度） 272回（2023年度）、269回（2024年度） ・利用者数の推移 131人（2021年度）、110人（2022年度） 110人（2023年度）、104人（2024年度）
47	③	5	いじめ・不登校対策事業	いじめや不登校の早期対応・早期解決や、児童生徒・保護者の個々の状況に応じた適切な支援を行うために、教職員の力量向上をめざした研修や校内支援体制、相談事業や適応指導教室・個別サポート事業の充実を図る。	K003	学校教育課	・校内はあとラウンジにおける支援の充実 ・パルクはあとラウンジ サテライトの増設検討及びオンラインによる支援の推進 ・hyper-QUの効果的な活用に向けた研修実施 ・いじめ対応学校支援チームを組織	・スクールソーシャルワーカーの学校支援件数：6,671人（令和3・4年） ・スクールソーシャルワーカーのべ支援児童生徒数：34,295人 ・パルクはあとラウンジ登録児童生徒への支援：637人
48	④	1	市民活躍応援事業	市民活動促進補助金の交付や市民活動情報サイトの運用により、多様な主体が活発に活動できるよう応援し、市民活動を促進する。	AI01010	とよた市民活動センター	・市民活動情報サイト運用：31,701閲覧ページ合計数 ・市民活動促進補助金の交付：16団体	新仕様の情報サイトの運用により、団体自らが情報を発信したり、つながり合う環境を整えることができた。補助金交付事業においては、伴走的支援ができる仕組みを構築した。
49	④	1	社会人による公益活動促進事業	社会人によるボランティア参加の場を創出し、市民活動団体が行う「共働によるまちづくり」活動を促進する。	AI01010	とよた市民活動センター	2022年度で事業完了	指標事業であるプロボノ関連事業は廃止したが、恒常的に市民活動団体からの相談対応に合わせ、企業プロボノをつなげる取組を継続している。質的な活動支援が可能な取組となった。
50	④	1	市民活動体験支援事業	性別にかかわらず自分らしく楽しく暮らせる社会の実現、市民活動の裾野の拡大を目的に、市民活動体験プログラムを実施する。	AI01010	とよた市民活動センター	2022年度で事業完了	指標事業である「つながる博」は廃止されたものの、「Weloveとよたフェスタ」を始め、市民活動団体の活動発表の機会が増加し、参加団体も増加した。
51	④	2	きらきらウェルネス地域推進事業	健康関連データを中学校区ごとにまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進する。	AY04	健康づくり応援歌	・地域主体の健康づくりに取り組む中学校区数：市内23中学校区	・地域主体の健康づくりに取り組む中学校区数 20地区（2021年度） 22地区（2022年度） 23地区（2023年度） 23地区（2024年度）
52	④	2	元気アップ事業	高齢者が要介護状態にならないよう、身近な場所で介護予防教室を実施し、自主的に継続できるように支援する。	AY04	健康づくり応援歌	・地域主体の健康づくりに取り組む中学校区数：市内23中学校区	・元気アップ教室の開催箇所数 12か所（2021年度） 11か所（2022年度） 10か所（2023年度） 11か所（2024年度） ・自主活動グループ数 190グループ（2021年度） 199グループ（2022年度） 199グループ（2023年度） 205グループ（2024年度）
53	④	2	SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）を活用した社会参加型介護予防事業	民間の創意工夫を生かすソーシャル・インパクト・ボンドを活用し、趣味や運動、就労等を通じた社会参加機会を増やすなど、介護予防につなげる取組を実施する。	AN07	未来都市推進課	・50以上の事業者が130以上のサービスを実施し、約8,000人の高齢者が参加 ・評価検証に必要なアンケート調査を実施	・50以上の事業者が130以上のサービスを実施し、延べ約17,000人の高齢者が参加
54	④	3	地域スポーツ支援事業	地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の活動を様々な点から支援することで、身近な地域でのスポーツ機会を創出する。	AL05	スポーツ振興課	・走り方教室の実施：66校 ・ホームチーム地域交流事業の実施：1クラブ ・地域スポーツクラブ活動事業費補助金の交付：6クラブ ・保険加入支援の実施：8クラブ ・チラシ作成講座の開催：19人参加 ・地域スポーツクラブ会議の運営：4回	・脱コロナを契機に事業を徐々に再開した。スポーツを「楽しむ」、「する」機会の創出をすることができた。

【参考資料2】第2期総合戦略（掲載事業）実績評価シート

通番	基本目標	中項目	事業名	事業概要	所属CD	所属	2024年度実績	期間内取組実績
55	④	4	企業・大学と連携したスポーツ支援体制の構築	企業・大学と連携したスポーツ教室等を継続して開催しながら、企業・大学の優れた指導者や環境を活用できる仕組みを構築する。	AL05	スポーツ振興課	・とよたスポーツ体験講座実施 走り方教室：66校 タグラグビー体験会：35校 ソフトボール投げ方教室：29校 野球投げ方教室：25校 パラアスリート特別授業：32校 ・とよたスポーツフェスティバルの開催：約3,500人来場 ・中京大学連携子ども向けスポーツ教室の実施：11教室 ・トヨタヴェルブリッツと連携した体験会「JOYRUG」の実施：6回延べ238人参加	・子どもを対象とした事業を新たに導入するなどし、事業の拡大を図った。スポーツを「楽しむ」、「する」機会の創出をすることができた。
56	④	5	日本語教育促進事業	日本語学習支援を必要とする外国人市民を対象に、就学前、学齢期、就労期における日本語学習支援、学校教育の補完的学習支援等、総合的な日本語教育推進施策を実施する。	A102	多様性社会共創課	＜NP0法人等との連携による、幼少期における日本語指導及び学校教育等の補完的学習支援、不就学者等に対する学習支援＞ ・幼児向け日本語教育事業 保見団地教室（2021～2024年度）：178日、延べ参加者数 794人 伊保こども園教室（2021～2024年度）：130日、延べ参加者数 704人 ・美和こども園教室（2022～2024年度）：59日、延べ参加者数 428人 梅坪こども園教室（2024年度）：20日、延べ参加者数 112人 ・青少年学習支援事業（2021～2024年度）：1,061日、延べ参加者数 12,392人 ・社会適応サポート事業（2021～2024年度）：893日、延べ参加者数 4,459人 ＜とよた日本語学習支援システムの運営（初期レベルの日本語教室の開催）＞ ・（2021～2022年度）6教室、外国人学習者 439人、日本人支援者 599人 ・（2023～2024年度）7教室、外国人学習者 664人、日本人支援者 731人 ＜多文化子育てサロンの実施＞ ・7回、延べ参加者数154人	＜とよた日本語学習支援システムの運営（初期レベルの日本語教室の開催）＞ ・（2021～2022年度）6教室、外国人学習者 439人、日本人支援者 599人 ・（2023～2024年度）7教室、外国人学習者 664人、日本人支援者 731人 ＜多文化子育てサロンの実施＞ （2022～2024年度）27回、延べ参加者数 671人
57	④	5	国際理解・啓発事業	国際交流や国際協力に関心はあるが、活動に参加したことがない市民に対して、国際分野に関する啓発や人材の掘り起こしを行うため、教育・啓発段階と活動実践段階において、国際理解に関する取組を実施する。	A102	多様性社会共創課	・マイカントリーデー：1回、130人 ・こども国際クラブ：全9回、延べ89人（うち、CIR実施分：1回） ・国際理解教育：9回、延べ632人（うち、CIR実施分：1回） ・国際理解セミナー：3回、延べ95人	・ナショナルデー（2021～2022年度）9回、延べ参加者数 294人 ・マイカントリーデー（2023～2024年度）6回、延べ参加者数 274人 ・こども国際クラブ（2021～2024年度）47回、延べ参加者数 600人 ・国際理解教育（2021～2024年度）34回、延べ参加者数 2,531人 ・国際理解セミナー（2021～2024年度）10回、延べ参加者数 218人
58	④	5	姉妹都市交流事業	国際交流に興味のある市民に対して情報発信をするとともに、豊田市と姉妹都市の特色や友好関係を最大限に生かし、交換学生事業や周年事業等といった交流事業を実施する。	A102	多様性社会共創課	・デトロイト市交換学生受入事業 生徒7人、引率2人を受入れ（14日間） ・ダービーシャー高校生派遣事業 生徒12人、引率1人を派遣（12日間）	【デトロイト市との交流】 ・交換学生派遣 （2021～2022年度）24人 ※オンライン交流 （2023年度）10人 ・交換学生受入事業 （2024年度）9人 ・周年記念事業（2021年度）216人 【ダービーシャーとの交流】 ・高校生派遣事業 （2021年度）15人 ※オンライン交流 （2022～2024年度）48人 ・ウェビナー（2021年度）11人 ・周年記念事業（2023年度）363人 ・学校間オンライン交流（2022年度）14人

【参考資料2】第2期総合戦略（掲載事業）実績評価シート

通番	基本目標	中項目	事業名	事業概要	所属CD	所属	2024年度実績	期間内取組実績
59	④	5	外国人市民の住みやすさ向上事業	外国人市民の意見を市の取組に反映することや、外国人市民の主体的な情報発信を促すことにより、外国人市民の住みやすさの向上を図る。あわせて、外国人市民への情報発信が可能な多文化共生のキーパーソンとなる外国人及び日本人による、効果的な情報発信の体制を構築する。	AI02	多様性社会共創課	・外国人の意見を聴く会の開催：1回、5か国、14人 ・多文化共生まちづくりの担い手多様化促進（ハンドブック作成等） ・市外国人向けホームページ開設	・外国人の意見を聴く会（2021～2024年度）4回 ・とよたフレンズ制度（2021～2024年度）1個人、7団体認定 ・多文化共生つながるハンドブック作成（2024年度） ・市外国人向けホームページ開設（2024年度）
60	④	6	救急医療提供体制確保事業	市民がいつでも症状に応じた適切な診療が受けられるように、救急対応医療機関への補助金交付及び休日救急診療所の運営を行う。	AX01	地域包括ケア企画課	・補助金の交付 ・休日救急診療所の運営	・補助金の交付 ・休日救急診療所の運営
61	④	6	在宅医療・福祉連携推進事業	本人の望む療養生活を全うできるよう、在宅医療と福祉の連携を強化し、在宅療養サービスの充実を図る。	AX01	地域包括ケア企画課	・在宅医療・福祉連携推進計画の推進 ・ICT技術の導入支援 ・在宅相談ステーションの運営 ・訪問看護師育成センター及び総合療法士育成センターの運営 ・訪問歯科衛生士育成事業の開始 ・在宅で栄養指導を担う人材育成の検討	・在宅医療・福祉連携推進計画の推進 ・ICT技術の導入支援 ・在宅相談ステーションの運営 ・訪問看護師育成センター及び総合療法士育成センターの運営 ・訪問歯科衛生士育成事業の開始 ・在宅で栄養指導を担う人材育成の検討
62	④	7	地域包括支援センターの機能強化	地域包括支援センター職員の人材育成を目的として、研修計画に沿った研修の実施、ブロック協力事業の実施、人材育成等計画を推進する。	AX06	高齢福祉課	・研修開催 開催数：36回 参加者数：529人 ・ブロック協力事業検討委員会の開催：43回	・研修開催 開催数：144回 参加者数：2,593人 ・ブロック協力事業検討委員会の開催：270回
63	④	7	総合的な認知症施策推進事業（支援チーム）	認知症の人やその家族の支援ニーズと、認知症サポーター[1]を中心とした支援をつなぐ仕組みを構築し、支援チームとして共生の地域づくりを推進する。	AX06	高齢福祉課	・認知症サポーター養成講座等の実施 認知症サポーター養成講座受講者：2,434人 ・ステップアップ講座受講者：453人 ・支援チーム 5チーム	・認知症サポーター養成講座等の実施 認知症サポーター養成講座受講者：10,631人 ・ステップアップ講座受講者：986人 ・支援チーム 5チーム
64	④	7	総合的な認知症施策推進事業（早期発見と社会参加）	関係機関と連携を図り、認知症の早期発見と認知症の人の地域社会での活躍を推進する。	AX06	高齢福祉課	・警福連携等による早期発見の対応 チラシ配布：19,990枚 ・社会参加支援交流会の実施 参加者：67名 ・社会参加のマッチングを支援した地域包括支援センターの数：22か所 ・マッチングに向けたコーディネートを実施したケース数：23件 ・認知症の人の本人発信支援（ピアサポート活動）：1回	・警福連携等による早期発見の対応 チラシ配布：75,487枚 ・社会参加支援交流会の実施 参加者：240名 ・社会参加のマッチングを支援した地域包括支援センターの数：最大22か所 ・マッチングに向けたコーディネートを実施したケース数：40件 ・認知症の人の本人発信支援（ピアサポート活動）：3回
65	④	7	介護人材支援事業	今後安定的に介護サービスを提供するため、介護サービス事業所を支援するとともに、介護全般に対する市民理解を促進し、介護に関わる人材のすそ野を拡大する。	AX07	介護保険課	・出前講座の開催：8回 ・職場体験受入事業所数：31か所 ・介護の仕事相談会の開催：1回 ・現任介護職員研修の開催：4回 ・日本語学習講座の開催：81回 ・国試対策講座の開催：3回 ・外国人材及び担当者交流会の開催：各1回 ・外国人受入支援セミナーの開催：1回 ・介護人材支援基礎研修の開催：1回 ・採用力向上研修の開催：1回 ・コミュニケーション力向上研修の開催：1回 ・職場改善コーディネーター派遣事業所数：5か所 ・訪問介護職場体験参加人数：29人 ・人材研修費補助件数：35件	・出前講座の開催：30回 ・職場体験受入事業所数：延べ59か所 ・介護の仕事セミナーの開催：4回 ・介護の仕事相談会の開催：5回 ・現任介護職員研修の開催：17回 ・日本語学習講座の開催：384回 ・国試対策講座の開催：37回 ・外国人材及び担当者交流会の開催：各2回 ・外国人受入支援セミナーの開催：1回 ・外国人受入人数：24人 ・キャリアアップ支援研修の開催：6回 ・介護人材支援基礎研修の開催：1回 ・採用力向上研修の開催：1回 ・コミュニケーション力向上研修の開催：1回 ・職場改善コーディネーター派遣事業所数：5か所 ・訪問介護職場体験参加人数：29人 ・人材研修費補助件数：83件
66	④	8	基幹バス運行事業	市中心部や各地域を結ぶとよたおいでんバスを効率的に運行し、広域的な移動手段を確保する。	AJ02	交通政策課	・とよたおいでんバスの運行：12路線 ・乗合バス（名鉄バス自主路線含む）	・おいでんバスの運行（12路線）
67	④	8	地域内移動手段確保事業	地域住民と市の共働により地域内を走るバス等を運行し、地域特性や需要に応じた交通サービスを提供する。	AJ02	交通政策課	・地域バスの運行：10地域 ・地域タクシー運行：4地域 ・次世代デマンドシステムの導入：2地域	・地域バスの運行（10地域） ・地域タクシー運行（4地域） ・次世代デマンドシステムの導入（2地域）

【参考資料2】第2期総合戦略（掲載事業）実績評価シート

通番	基本目標	中項目	事業名	事業概要	所属CD	所属	2024年度実績	期間内取組実績
68	⑤	1	とよたエコフルタウン推進事業	とよたエコフルタウンを活用し、先進技術実証やSDGs未来都市の取組を見せる化する。	AN07	未来都市推進課	・施設の解体を実施	・ガイドツアー、PRイベント等の実施（2021～2023年度） ・超小型電気自動車によるフードデリバリー実証事業の車両基地として活用（2021～2022年度） ・オフグリッドトレーラーハウスによる実証事業を実施（2022～2023年度） ・閉館に当たって施設PRのためキャンペーンを実施（2023年度） ・施設解体工事を実施（2024年度）
69	⑤	1	SDGs未来都市推進事業	SDGs未来都市の取組事例を国内外へ発信する。	AN07	未来都市推進課	・豊田市SDGs認証制度：認証申請者36事業者 ・とよたSDGsマスター公認ファシリテーター：35名 ・2024IMFでの発信ははじめプロモーション件数：8件	・とよたSDGsパートナー制度において、パートナーによるイベント開催等を実施（2021～2024年度） ・豊田市SDGs認証制度を構築（2022年度）、運営：135事業者参加（2023～2024年度） ・カードゲーム「とよたSDGsマスター」を制作（2022年度）、ファシリテーターを育成：91名（2023～2024年度） ・ニューヨーク国連本部で開催されるハイレベル政治フォーラムでのPRをはじめ、国際社会にSDGsの取組を発信（2021～2024年度）
70	⑤	1	次世代社会システム推進事業	市の課題解決に資する先進実証を支援し、実用化を推進する。	AN07	未来都市推進課	・新規実証件数：16件 ・新規入会：8件	・新規実証件数：57件 ・新規入会：35件
71	⑤	1	先進移動技術等実証事業	先進移動技術を活用した実証を支援し、実用化を推進する。	AN07	未来都市推進課	・先進モビリティの貸出事業「まち*モビ」を実施	・2023年7月からの2年間で約2,000人の方が利用
72	⑤	2	市役所のデジタル化・スマート化	申請手続きの電子化や各種行政事務へのAI・RPA等の活用による窓口のスマート化を図るとともに、職員ノウハウ等をAI化・データベース化し、行政サービスの質の向上を図る。	AB12	情報戦略課	・あいち電子申請・届出システム等を活用したオンライン申請・キャッシュレス決済の拡充、新システムへの移行 ・デジタルデバйд対策の継続的实施 ・伴走型BPR及びBPR研修の実施 ・バックオフィス改革の推進 ・市民ポータル構築	・コロナ感染拡大防止の関連等もあり、電子申請の推進等、市民サービスの新たな形を拡充することができた。 ・伴走型BPRやバックオフィス改革の実施により、行政サービスの高度化を行った。
73	⑤	2	次世代通信網・データの活用の推進	5G等を活用した新サービスの創出に向けた先進技術による実証実験や、オープンデータ・ビッグデータ等の効果的な活用を図る。	AB12	情報戦略課	・公式LINEを活用した子育て世代向けプッシュ通知及び各種申請等の拡充検討 ・「オープンデータカタログサイト」の公開及びオープンデータの拡充 ・とよたデータボードの拡充 ・DX推進のための官民共創に関する定期相談会、ワークショップ研修、1DAYインターンの実施	・オープンデータを活用した行政情報の可視化やメタバースとよたの構築といった、これまでにない新たな市民接点を生み出すことができた。 ・官民共創の推進により、多角的な課題解決の検討を行った。
74	⑤	3	気候変動適応策推進事業	気候変動への適応という新しい考え方を浸透させるため、必要性や対応策について、市民や事業者等に対する普及啓発を実施。また、気候変動による本市への影響の分析・調査や必要な対応策等の検討を進める	AE01	環境政策課	・適応策の推進 ・熱中症対策イベント・講座の実施 ・気候変動適応情報プラットフォームによる情報発信	・適応策の推進 ・熱中症対策イベント・講座の実施 ・気候変動適応情報プラットフォームによる情報発信
75	⑤	4	自助意識普及啓発事業	市民の防災意識の高揚と防災知識の向上を図り、自助の取組を促進するための啓発事業を実施する。	AI04	防災対策課	・マイ・タイムライン作成支援実績：23回、1,127人 ・防災キャンプ：6回	・マイ・タイムライン作成支援実績：99回、4,337人 ・防災キャンプ：17回
76	⑤	4	自主防災活動支援事業	自主防災リーダーの育成、防災訓練への指導員派遣や資機材貸与、防災事業に対する補助金交付などにより、自主防災組織の活動を支援する。	AI04	防災対策課	・自主防災リーダー養成講座の開催：1回 ・自主防災組織の活動支援：167回 ・自主防災会連絡協議会の運営	・自主防災リーダー養成講座の開催：4回 ・自主防災組織の活動支援：559回 ・自主防災会連絡協議会の運営
77	⑤	4	事業者災害時行動マニュアル等作成促進事業	大学等と連携した研修会の実施など、災害時に事業者が迅速に復旧・復興するための行動マニュアル（BCP含む）の作成を支援する。	AI04	防災対策課	・行動マニュアル（BCP含む）の作成支援講習会（入門編・中級編・フォローアップ）の開催：13回	・行動マニュアル（BCP含む）の作成支援講習会（入門編・中級編・フォローアップ）の開催：50回
78	⑤	4	受援体制構築事業	災害対応業務を遂行するために不足する資源を分析し、支援を受けた人的・物的資源などを有効に活用するための基本情報、体制、手順等を整えていく。	AI04	防災対策課	・受援対象業務管理データベース運用 ・庁内関係対策班と連携した訓練の実施：1回 ・受援調整班との業務説明会及びシステム操作訓練の実施：1回 ・受援調整班マニュアルの改訂	・受援対象業務管理データベースの継続運用 ・事業者や庁内関係対策班と連携した訓練の実施：4回 ・受援調整班との業務説明会及びシステム操作訓練の実施：2回 ・受援調整班マニュアルの改訂